

## 平成30年度県政世論調査結果（概要）について

### <調査の概要>

- 1 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女2,000人
- 2 調査期間 平成30年8月24日～9月17日
- 3 調査方法 調査員による留置調査
- 4 回収数(率) 1,668 (83.4%)
- 5 調査項目
  - (1) 県政への要望調査、政策の満足度調査
    - ㊦自転車の活用、働き方改革、富山きときと空港の利用促進
    - ㊧富山県ホームページ等、㊨3Rの取組み
    - 障害者福祉の充実、㊩里親制度、食品ロスの削減、犯罪の予防
  - (2) 個別施策
  - (3) 意識調査

## 1 県政全般について

### <県政への要望について>

県の政策のうち、もっと力を入れてほしいと思う政策を5つ以内で選択

- ・例年同様、景気対策や子育て、医療・福祉、雪対策に関連する項目が上位を占めている。
- ・雪対策が昨年5位から1位へ順位を上げ、『防災』に関する項目も5位と8位へ順位を上げた。

### ○要望の高い項目（上位10項目）

順位	項目		%	前回H29 (参考)
1	雪に強いまちづくり	安全・安心	29.6	14.5 (5位)
2	景気対策	産 業	17.2	23.2 (1位)
3	高齢者福祉の充実	健康・福祉	14.5	17.9 (3位)
4	子育て支援	子育て・教育	14.0	20.3 (2位)
5	防災・危機管理体制の充実	安全・安心	12.4	10.6 (11位)
6	医療提供体制の充実	健康・福祉	11.7	15.7 (4位)
7	生活交通の確保	安全・安心	11.3	12.1 (8位)
8	地震防災対策の充実	安全・安心	10.4	10.1 (13位)
9	富山県や日本を担う子どもの育成	人づくり	10.1	H30新規
10	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	9.5	H30新規

### 【参考】過去調査結果（上位5項目）

順位	要望調査（%）				
	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
1	景気対策 28.5	景気対策 25.5	景気対策 25.2	景気対策 23.2	雪に強いまちづくり 29.6
2	子育て支援 21.3	子育て支援 21.1	子育て支援 19.2	子育て支援 20.3	景気対策 17.2
3	高齢者福祉の充実 20.6	高齢者福祉の充実 17.7	高齢者福祉の充実 18.9	高齢者福祉の充実 17.9	高齢者福祉の充実 14.5
4	医療提供体制の充実 16.3	雪に強いまちづくり 16.4	オープンでわかりやすい県政 16.4	医療提供体制の充実 15.7	子育て支援 14.0
5	雪に強いまちづくり 14.2	医療提供体制の充実 14.3	雪に強いまちづくり 15.8	雪に強いまちづくり 14.5	防災・危機管理体制の充実 12.4

<政策の満足度について>

県の政策について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」から1つ選択

○満足度の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、「北陸新幹線の整備促進」が1位、「水資源の保全と活用」が2位となっている。
- ・8位となった「医療提供体制の充実」は昨年17位から順位を大きく上げ、県立中央病院先端医療棟の整備やドクターヘリ導入等への高い評価が表れている。

順位	項目		%	前回H29 (参考)
1	北陸新幹線の整備促進	交流・物流	46.0	52.8 (1位)
2	水資源の保全と活用	環境	30.2	32.3 (2位)
3	食の安全確保と地産池消・食育の推進	健康・福祉	28.1	26.7 (5位)
4	子育て支援	子育て・教育	24.6	25.3 (7位)
5	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	24.5	26.1 (6位)
6	利便性の高い道路ネットワークの整備	交流・物流	24.4	23.7 (12位)
7	芸術文化の振興	県民活動	24.2	30.6 (3位)
8	医療提供体制の充実	健康・福祉	24.0	22.3 (17位)
9	スポーツの振興	県民活動	23.9	23.6 (13位)
10	自然環境の保全	環境	23.4	23.4 (14位)

※「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた数値を指標としている。

○不満度の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、「中心市街地の賑わいの創出」が1位となり、『まちづくり・観光』や『産業』に係る項目が上位を占めている。
- ・「雪に強いまちづくり」が昨年14位から2位に、「生活交通の確保」が18位から9位に大きく順位を上げ、昨冬の記録的な大雪による影響が反映された。

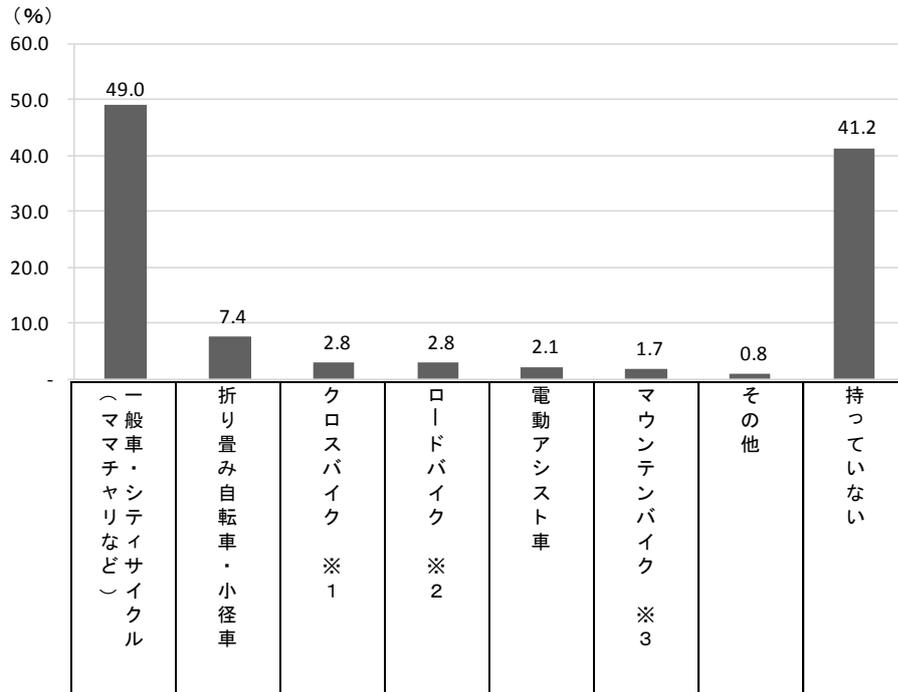
順位	項目		%	前回H29 (参考)
1	中心市街地の賑わいの創出	まちづくり・観光	44.4	44.6 (1位)
2	雪に強いまちづくり	安全・安心	41.4	28.1 (14位)
3	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	まちづくり・観光	36.3	34.4 (4位)
4	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	産業	35.0	35.6 (3位)
5	選ばれ続ける観光地づくり	まちづくり・観光	33.8	36.5 (2位)
6	雇用の確保と人材の育成	産業	30.8	31.6 (7位)
7	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	29.8	29.5 (11位)
8	「とやまから日本を変える」改革と創造	県政	29.31	31.5 (8位)
9	生活交通の確保	安全・安心	29.25	26.4 (18位)
10	富山のブランドカアアップ	まちづくり・観光	29.1	32.9 (5位)

※「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた数値を指標としている。

## 2 自転車の活用について

(1) どんな自転車を持っているかについて（複数回答：いくつでも）

・「持っていない」が4割を超えている。



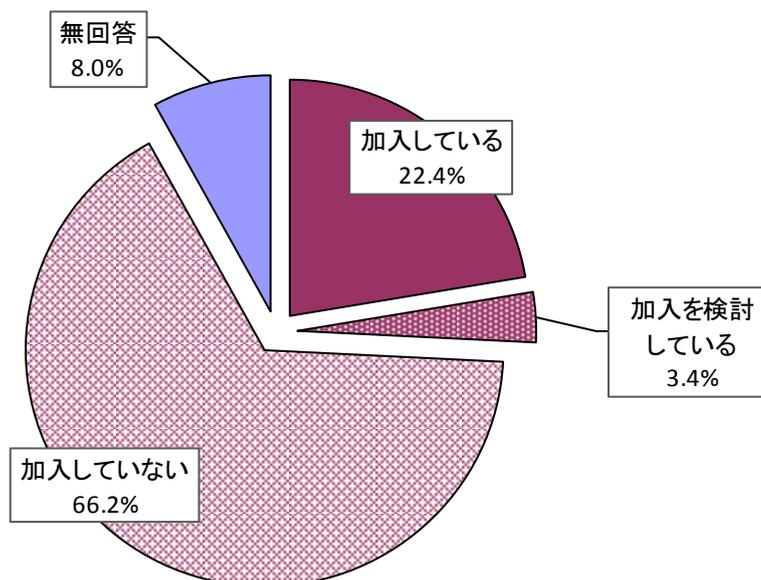
※1 クロスバイク・・・ロードバイクとマウンテンバイクを組み合わせた自転車  
(クッション性を意識したタイヤとなっている。)

※2 ロードバイク・・・主に舗装道路を早く走るための自転車  
(ドロップハンドルで細めのタイヤとなっている。)

※3 マウンテンバイク・・・野山や林道を走るのに適した自転車  
(頑丈なフレームで太めのタイヤとなっている。)

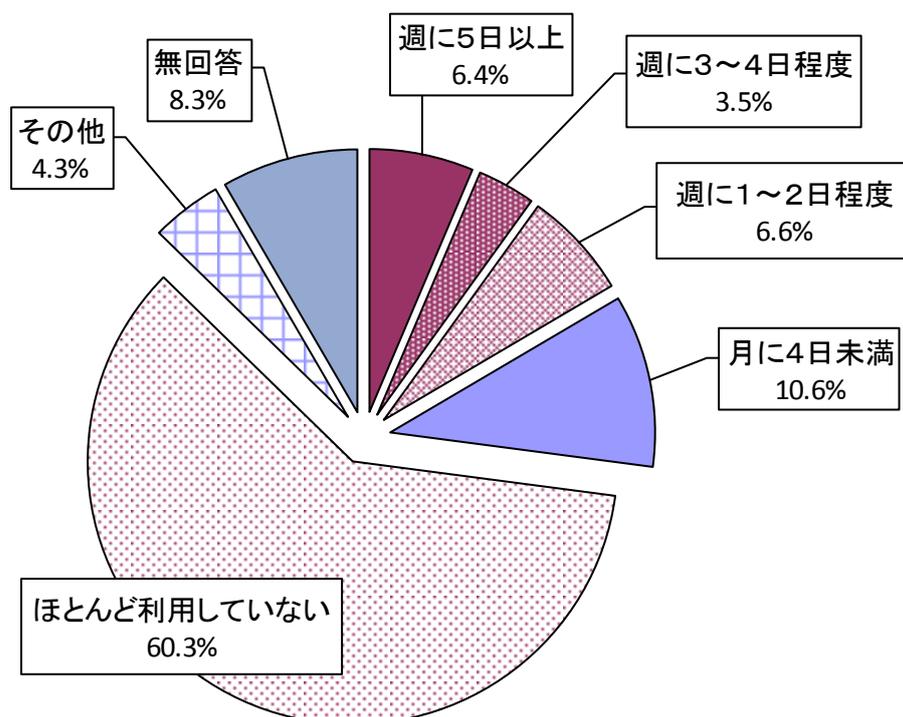
(2) 自転車利用の際に発生した交通事故などによる損害を補償するための保険又は共済への加入について

・「加入していない」が7割近くに達している。



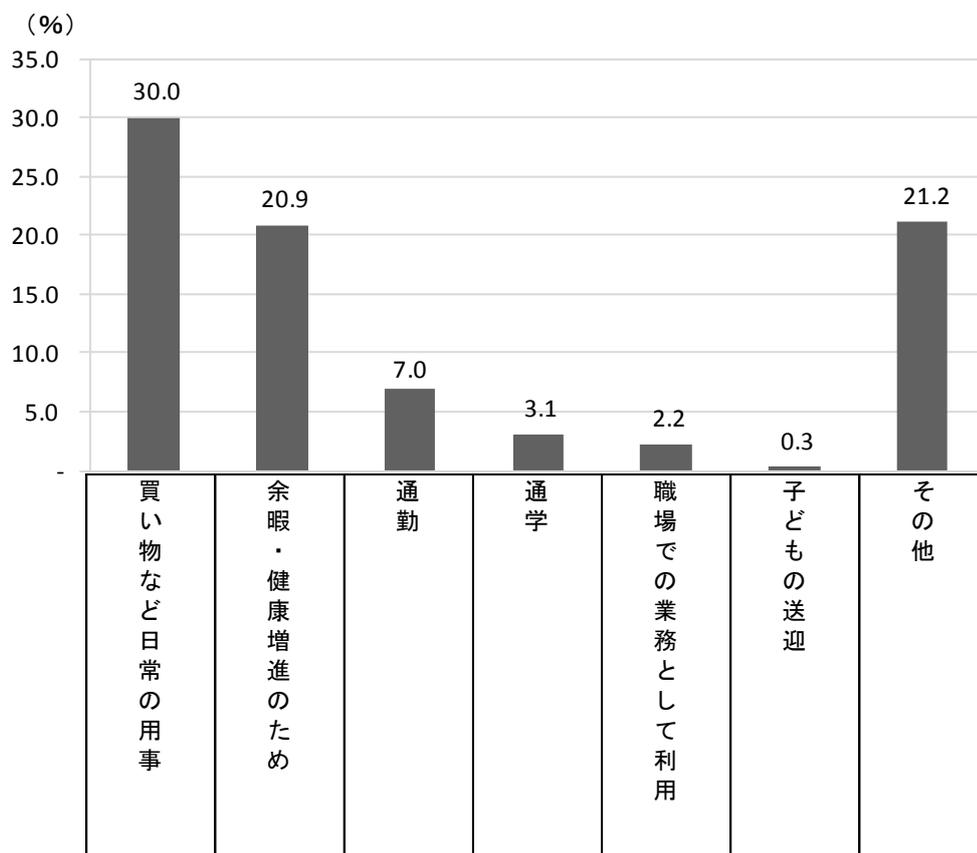
(3) 普段どのくらいの頻度で自転車を利用しているかについて

・「ほとんど利用していない」が6割となっている。



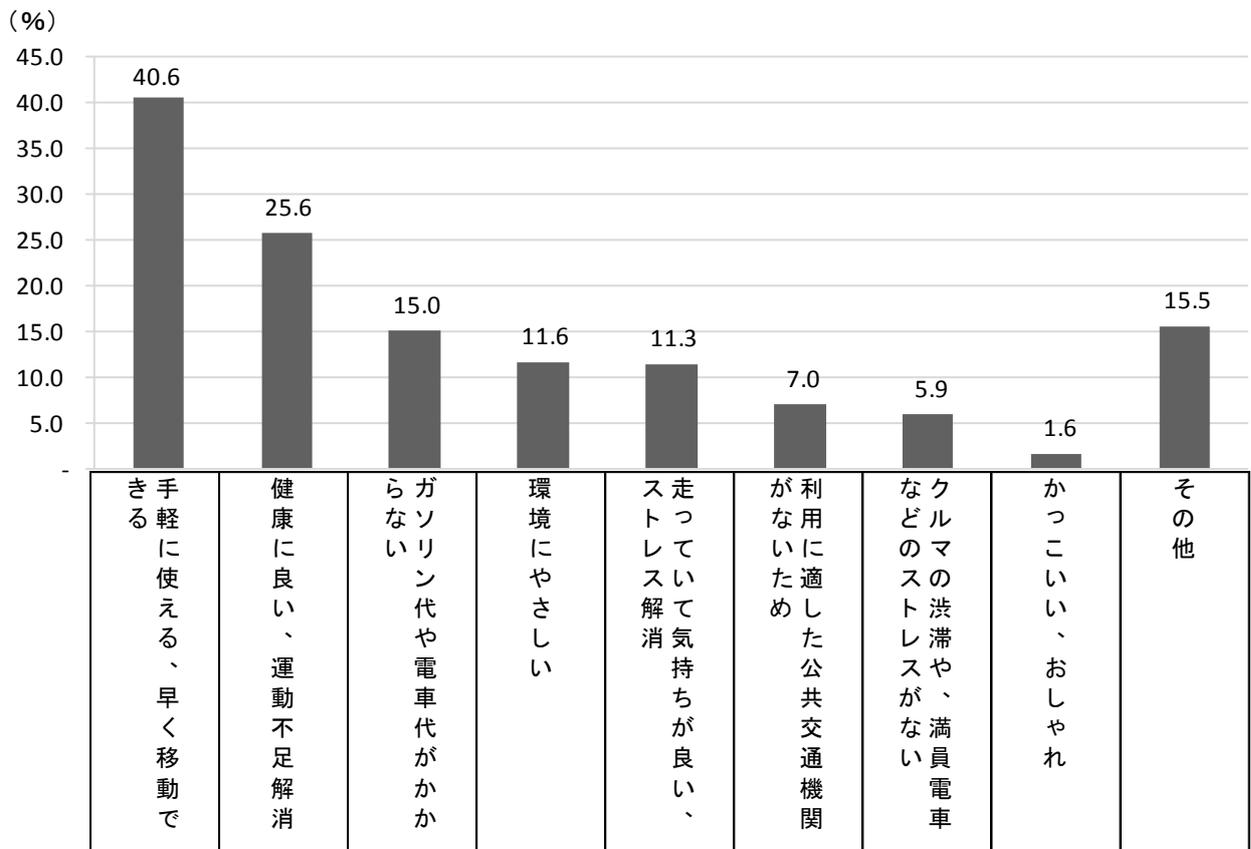
(4) どのような目的で自転車を利用しているかについて（複数回答：いくつでも）

・「買い物など日常の用事」、「余暇・健康増進のため」が上位となっている。



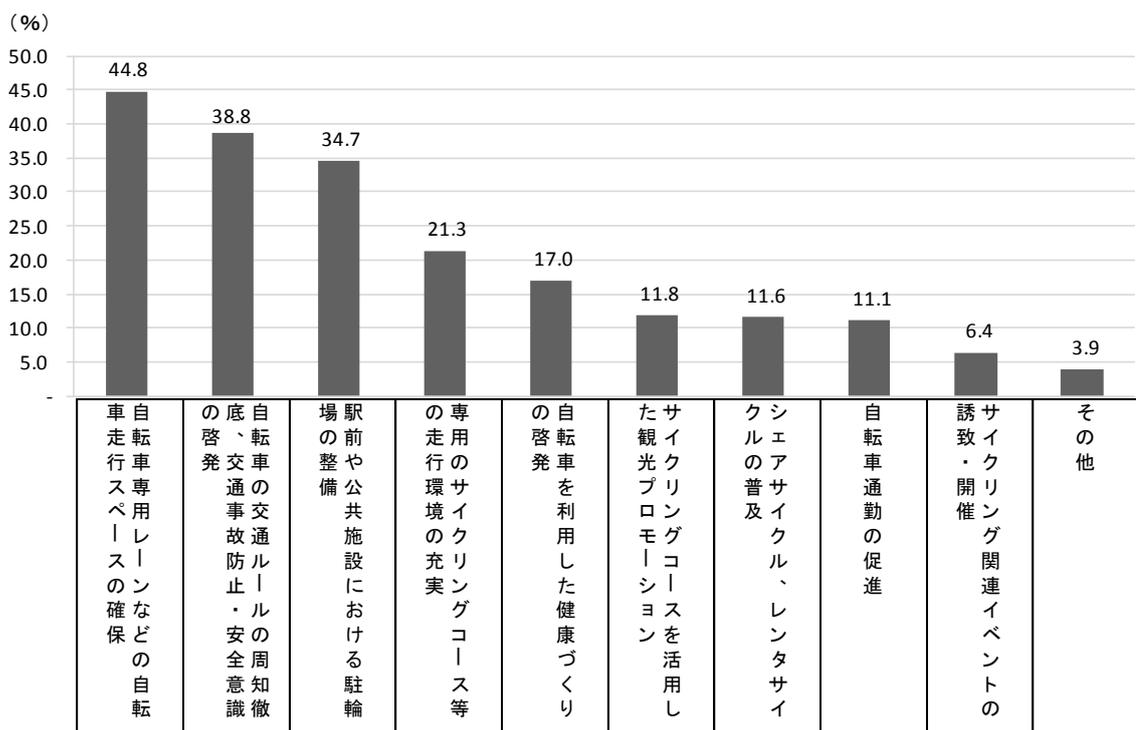
(5) どのような理由で自転車を利用しているかについて（複数回答：いくつでも）

・「手軽に使える、早く移動できる」、「健康に良い、運動不足解消」が上位となっている。



(6) 自転車の活用を推進するために必要な行政の取組みについて（複数回答：3つ以内）

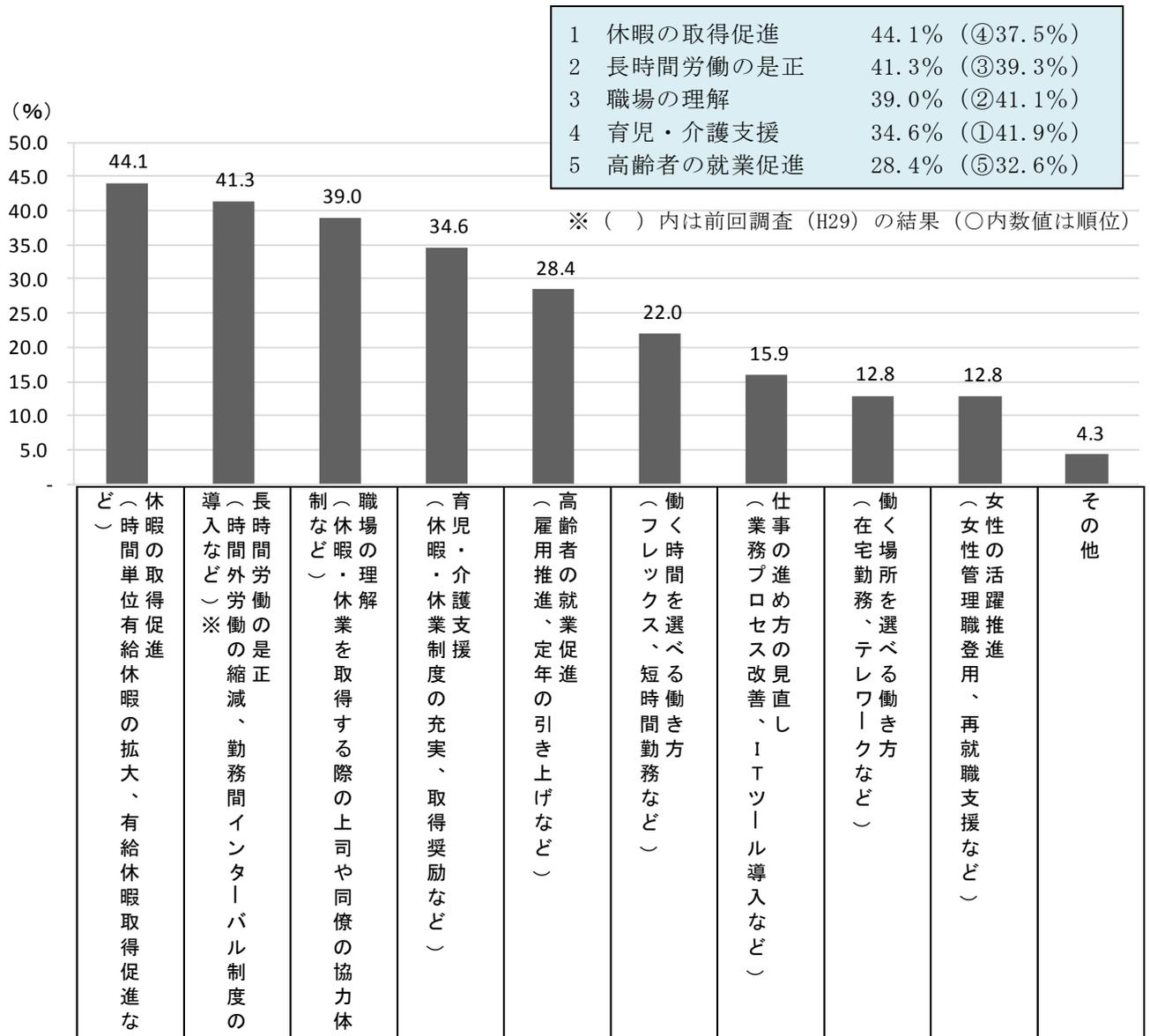
・「自転車専用レーンなどの自転車走行スペースの確保」、「自転車の交通ルールの周知徹底、交通事故防止・安全意識の啓発」、「駅前や公共施設における駐輪場の整備」が上位となっている。



### 3 働き方改革について

「働き方改革」の実現のために力を入れるべきことについて（複数回答：3つ以内）

・上位5位は前回同様であり、「休暇の取得促進」、「長時間労働の是正」等となっている。



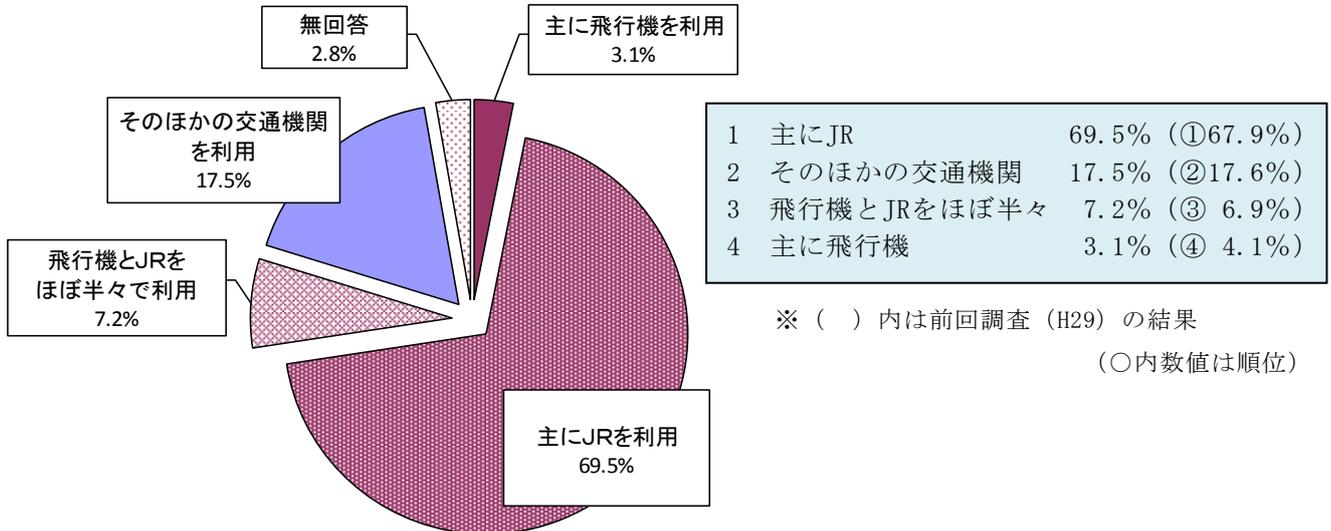
※勤務間インターバル制度

勤務終了後、次の勤務までに一定時間以上の「休息时间」を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保するもの。

#### 4 富山きときと空港の利用促進について

##### (1) 東京や首都圏方面に出かける場合の交通手段について

・前回同様、「主にJRを利用」が7割弱となっている。

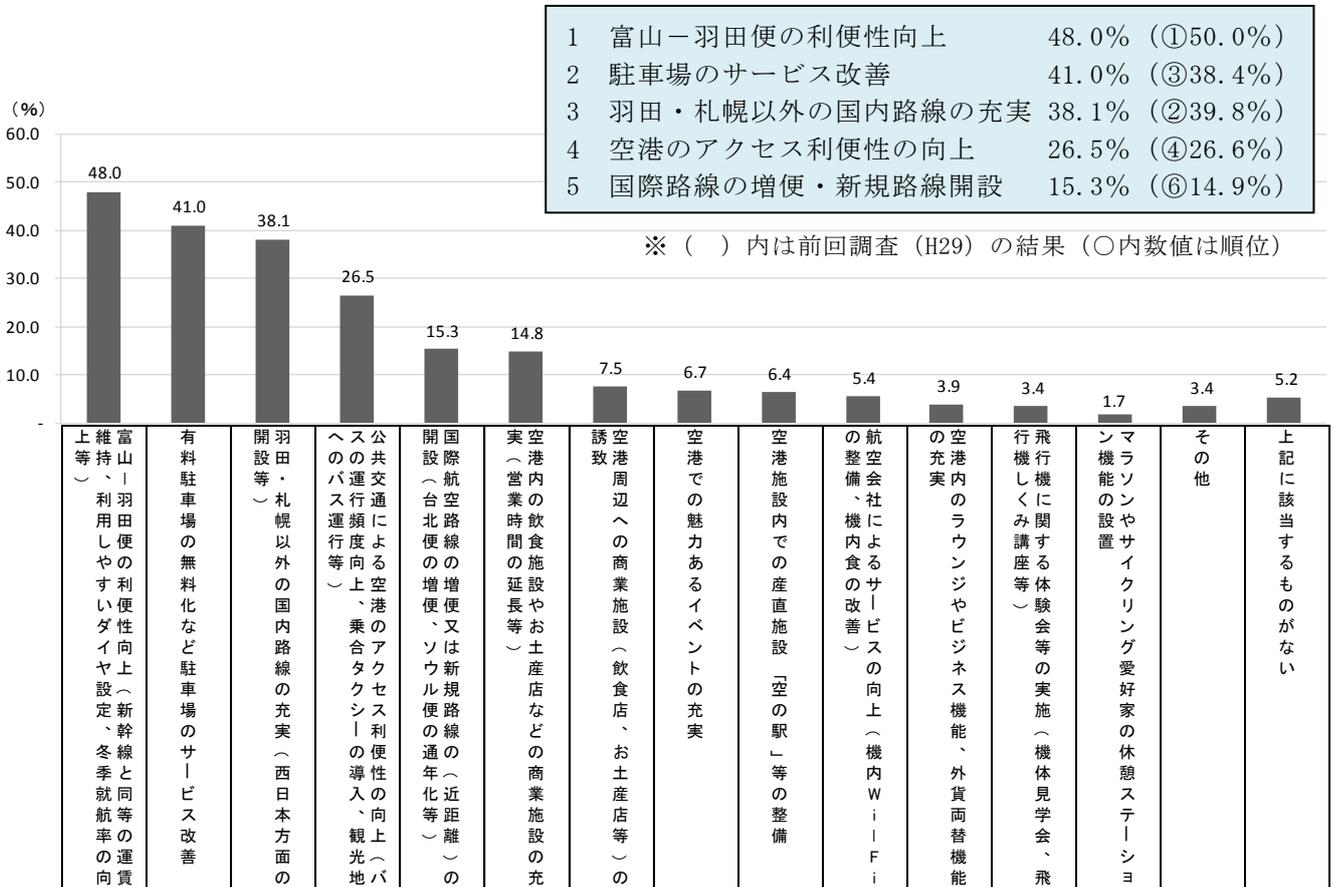


※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(○内数値は順位)

##### (2) 空港利用を増やすためのサービスについて (複数回答: 3つ以内)

・上位は前回同様であり、「富山-羽田便の利便性向上」、「駐車場のサービス改善」等となっている。

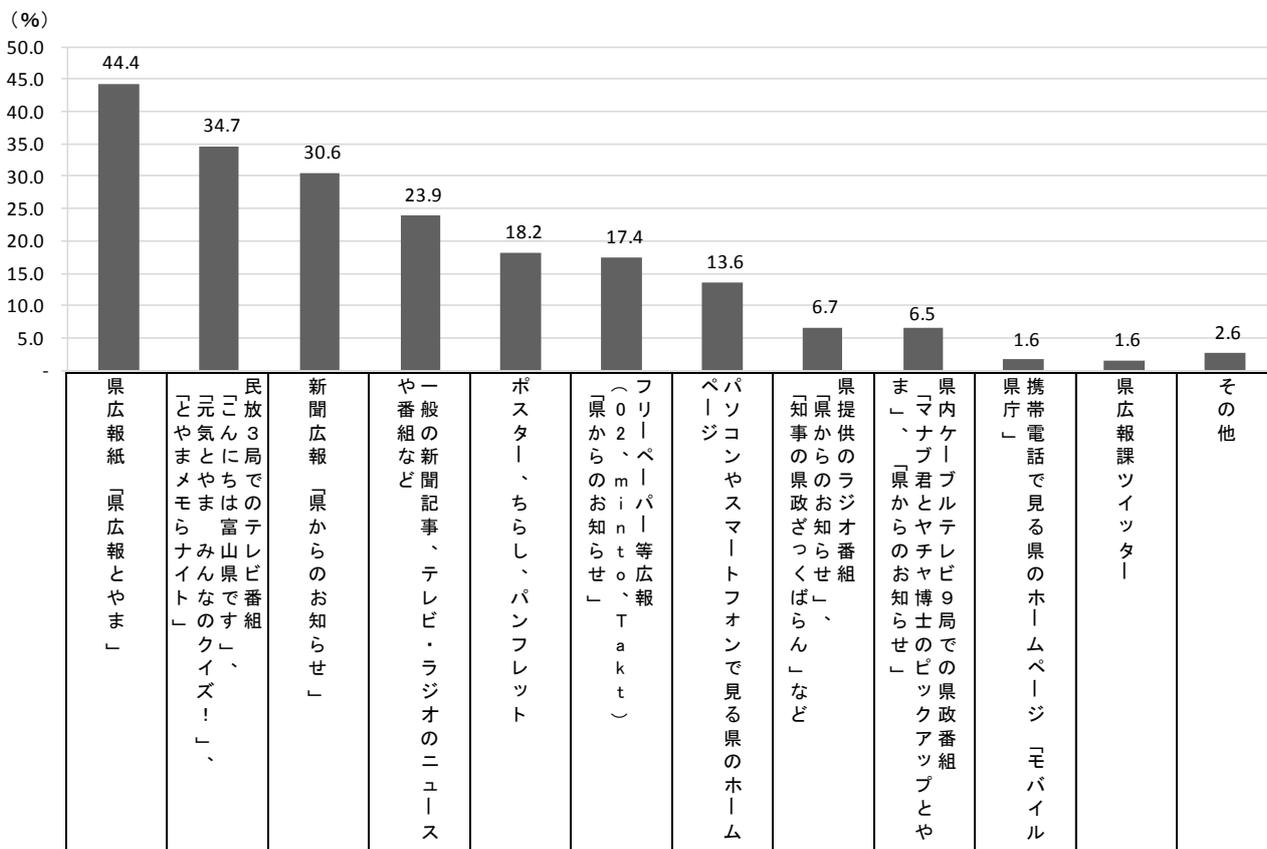


※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果 (○内数値は順位)

## 5 富山県ホームページ等について

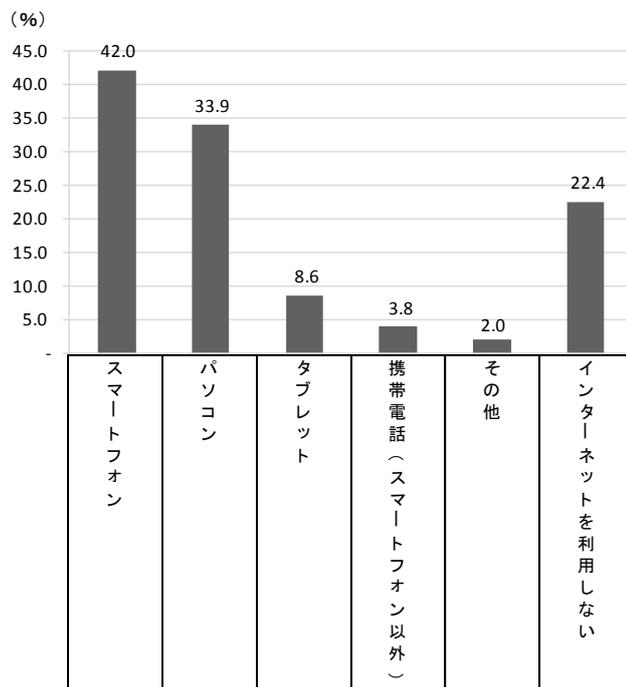
(1) 県の動きや施策、お知らせなどの情報源について（複数回答：いくつでも）

・「県広報紙」、「民放の県政テレビ番組」、「新聞広報」が上位となっている一方で、「ホームページ」はまだまだ低い。



(2) 県のホームページを見る手段について（複数回答：いくつでも）

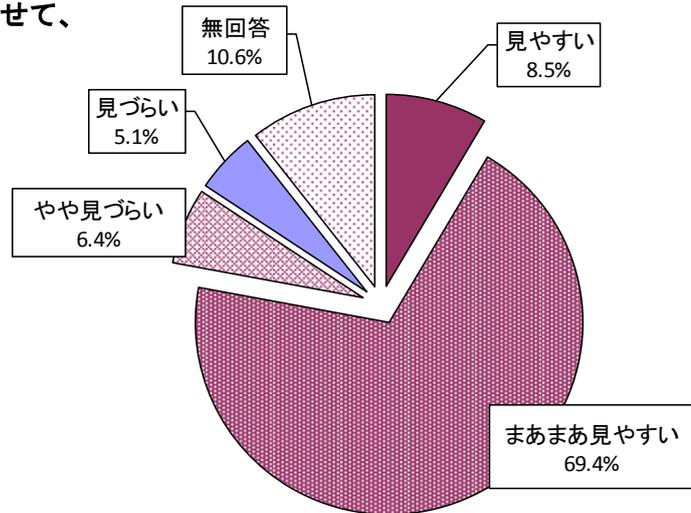
・「スマートフォン」が4割を超えた一方で、「インターネットを利用しない」が2割強ある。



### (3) 県のホームページの見やすさについて

((2)で「インターネットを利用しない」を選ばなかった人が対象)

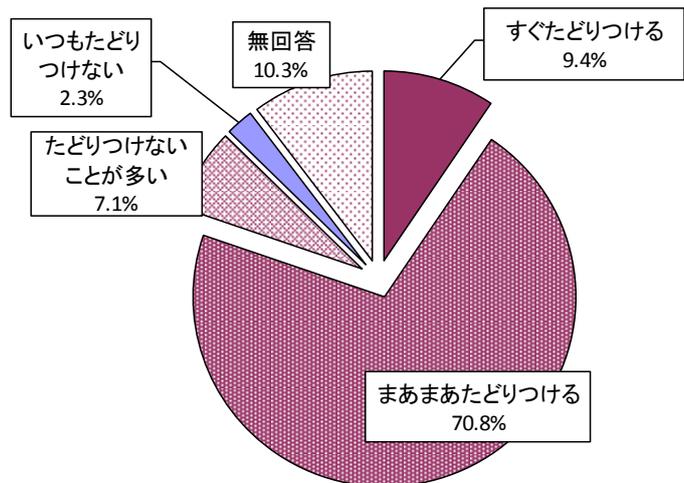
- ・「見やすい」と「まあまあ見やすい」を合わせて、約8割となっている。



### (4) 県のホームページは知りたい情報にすぐたどりつけるかについて

((2)で「インターネットを利用しない」を選ばなかった人が対象)

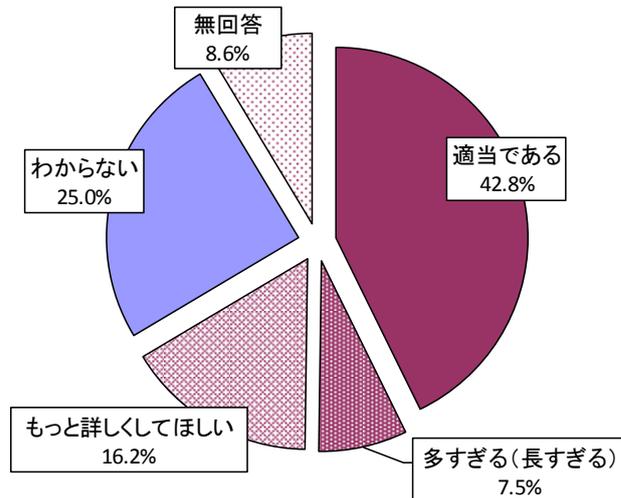
- ・「すぐたどりつける」と「まあまあたどりつける」を合わせて、約8割となっている。



### (5) 県ホームページの各ページの情報量について

((2)で「インターネットを利用しない」を選ばなかった人が対象)

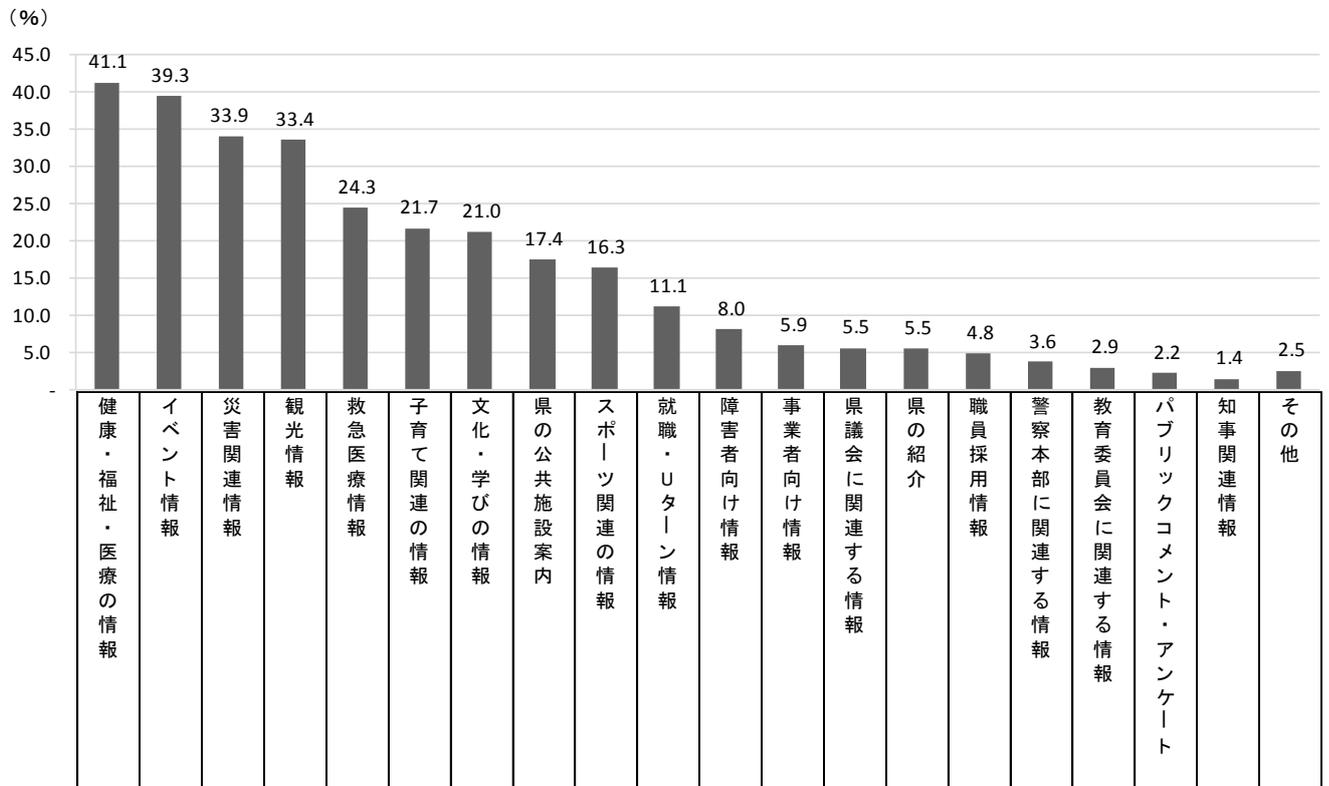
- ・「適当である」が約4割となっている。



(6) 県のホームページで今後充実してほしい情報について（複数回答：いくつでも）

((2)で「インターネットを利用しない」を選ばなかった人が対象)

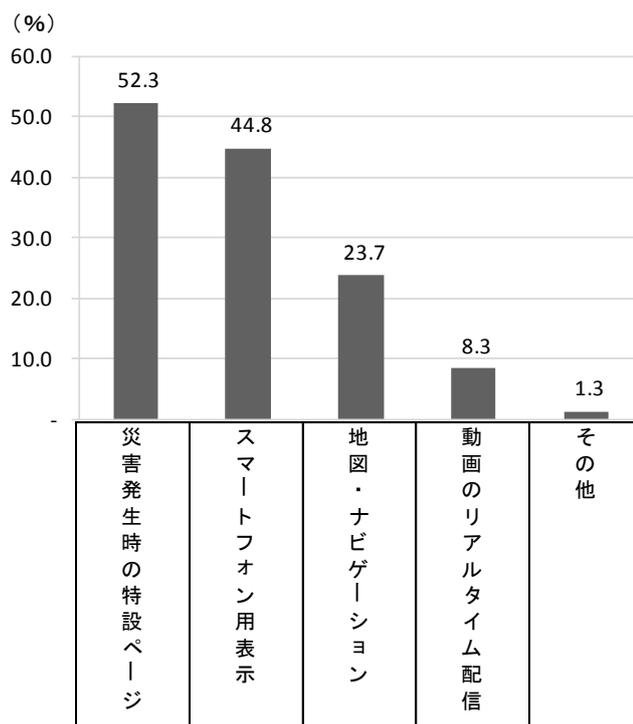
・「健康・福祉・医療の情報」、「イベント情報」、「災害関連情報」、「観光情報」をはじめ、幅広い要望がある。



(7) 県のホームページで今後充実してほしい機能について（複数回答：いくつでも）

((2)で「インターネットを利用しない」を選ばなかった人が対象)

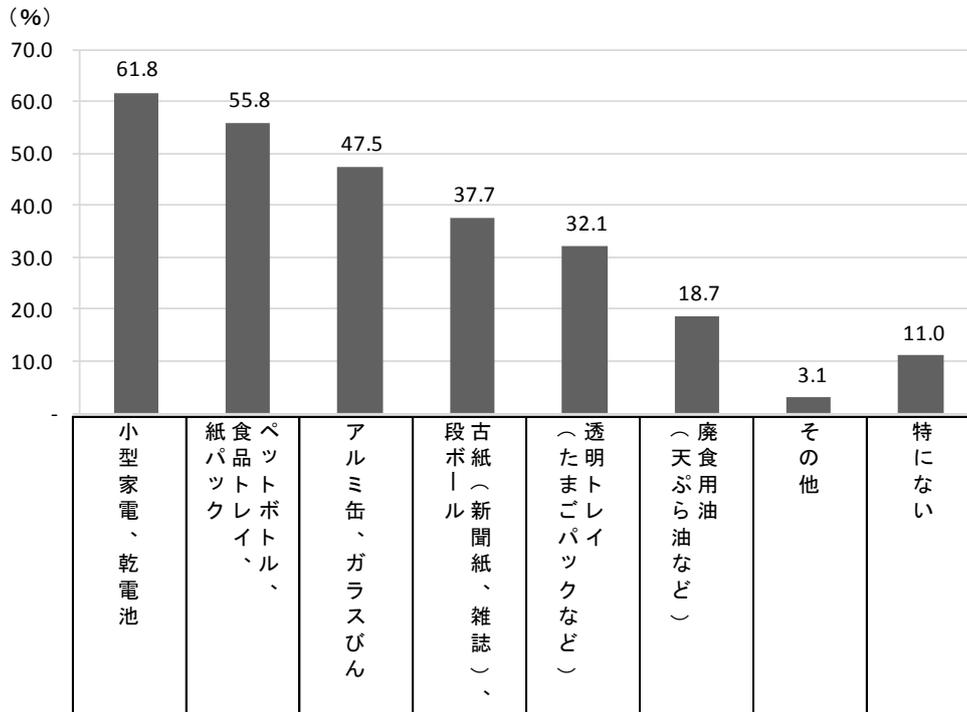
・「災害発生時の特設ページ」、「スマートフォン用表示」が上位となっている。



## 6 3Rの取組みについて

小売店で回収してほしい資源物について（複数回答：いくつでも）

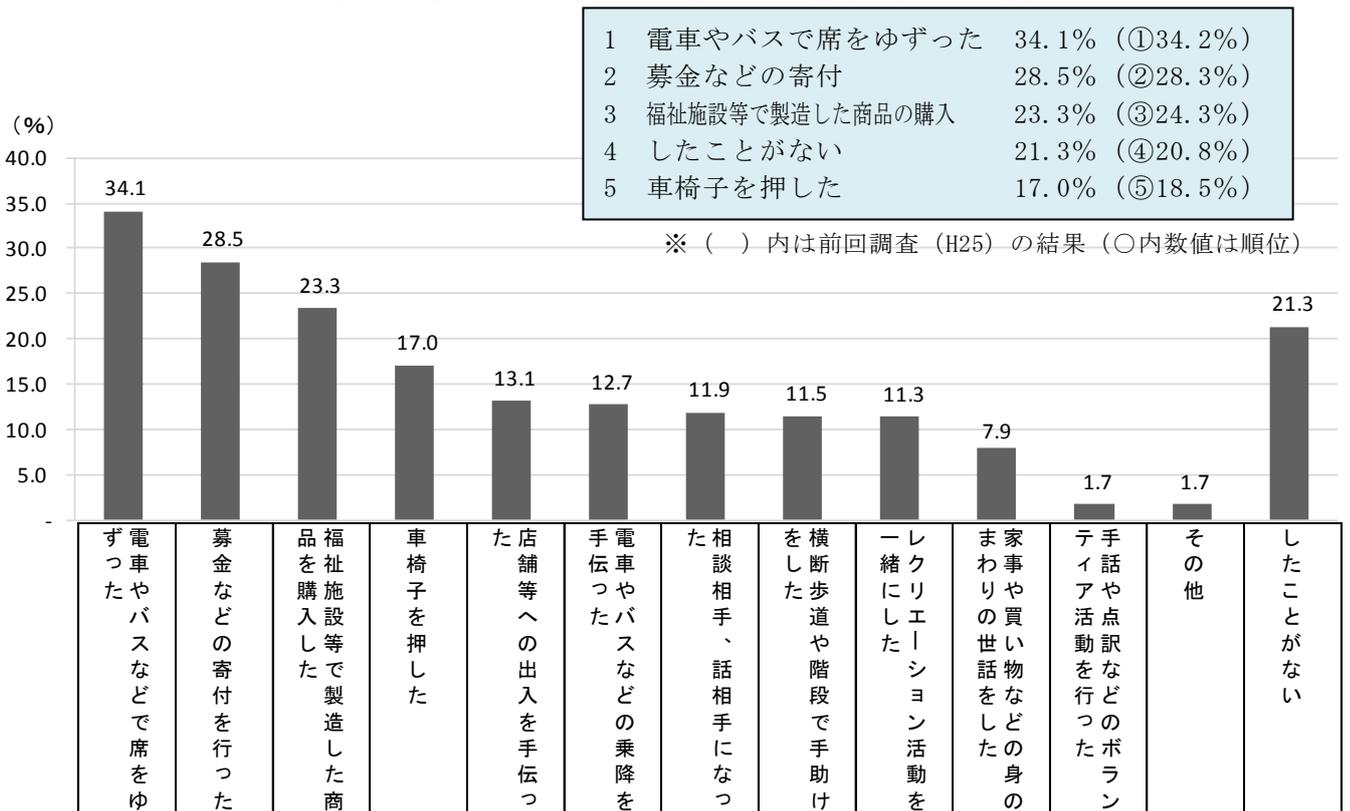
・「小型家電、乾電池」が最も高く、その他さまざまな物に幅広い要望がある。



## 7 障害者福祉の充実について

障害のある人に対しこれまでに行った交流や手助けについて（複数回答：いくつでも）

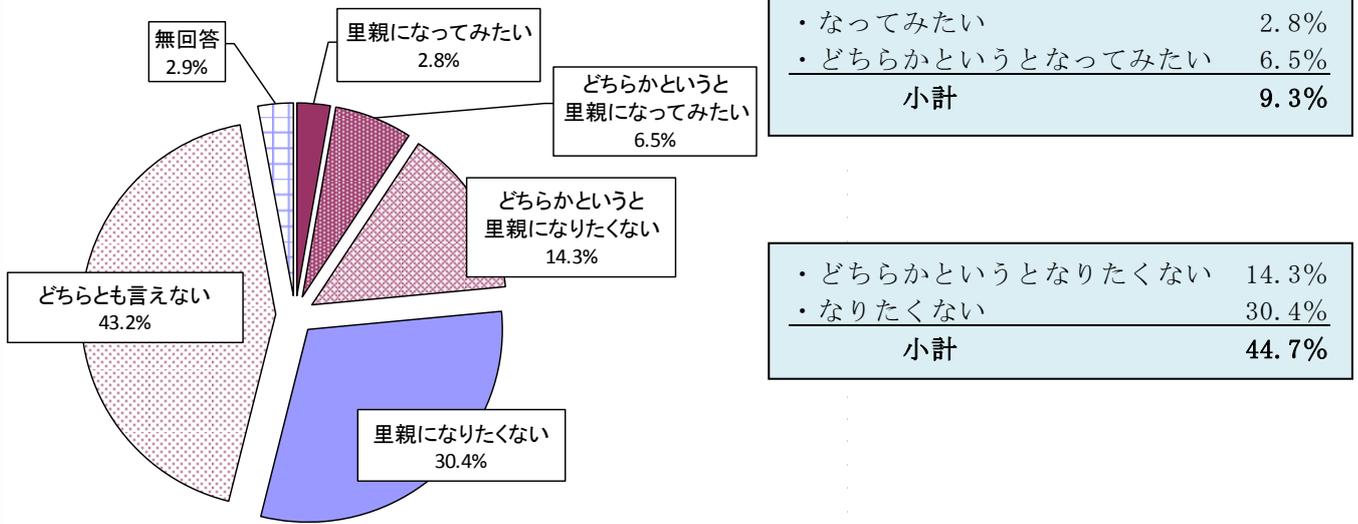
・上位5位は前回同様であり、「電車やバスなどで席をゆずった」等となっている。



## 8 里親制度について

### (1) 里親になってみたいかについて

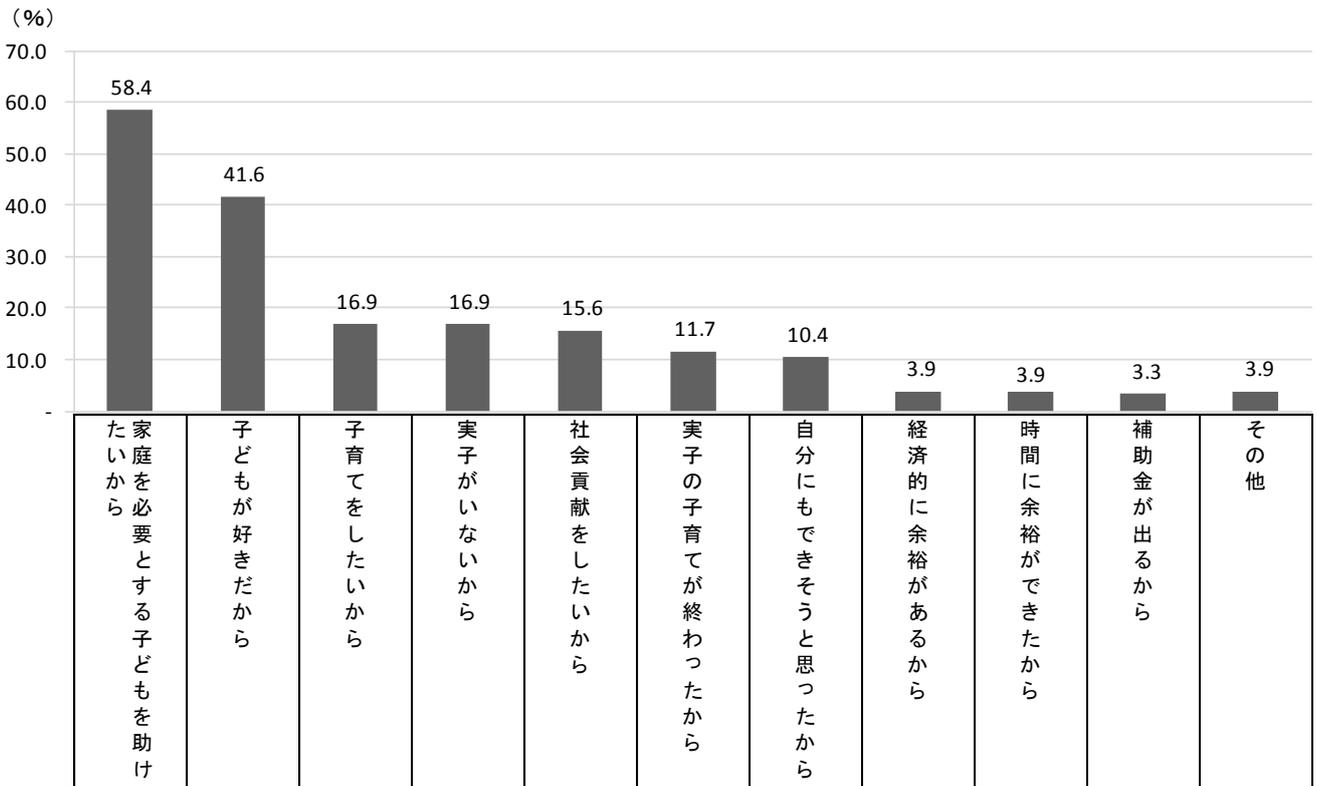
・「なりたくない」と「どちらかというとなりたくない」を合わせて、4割を超えている。



### (2) 里親になってみたい理由について（複数回答：いくつでも）

((1)で「里親になってみたい」、「どちらかというとなりたくない」を選んだ人が対象)

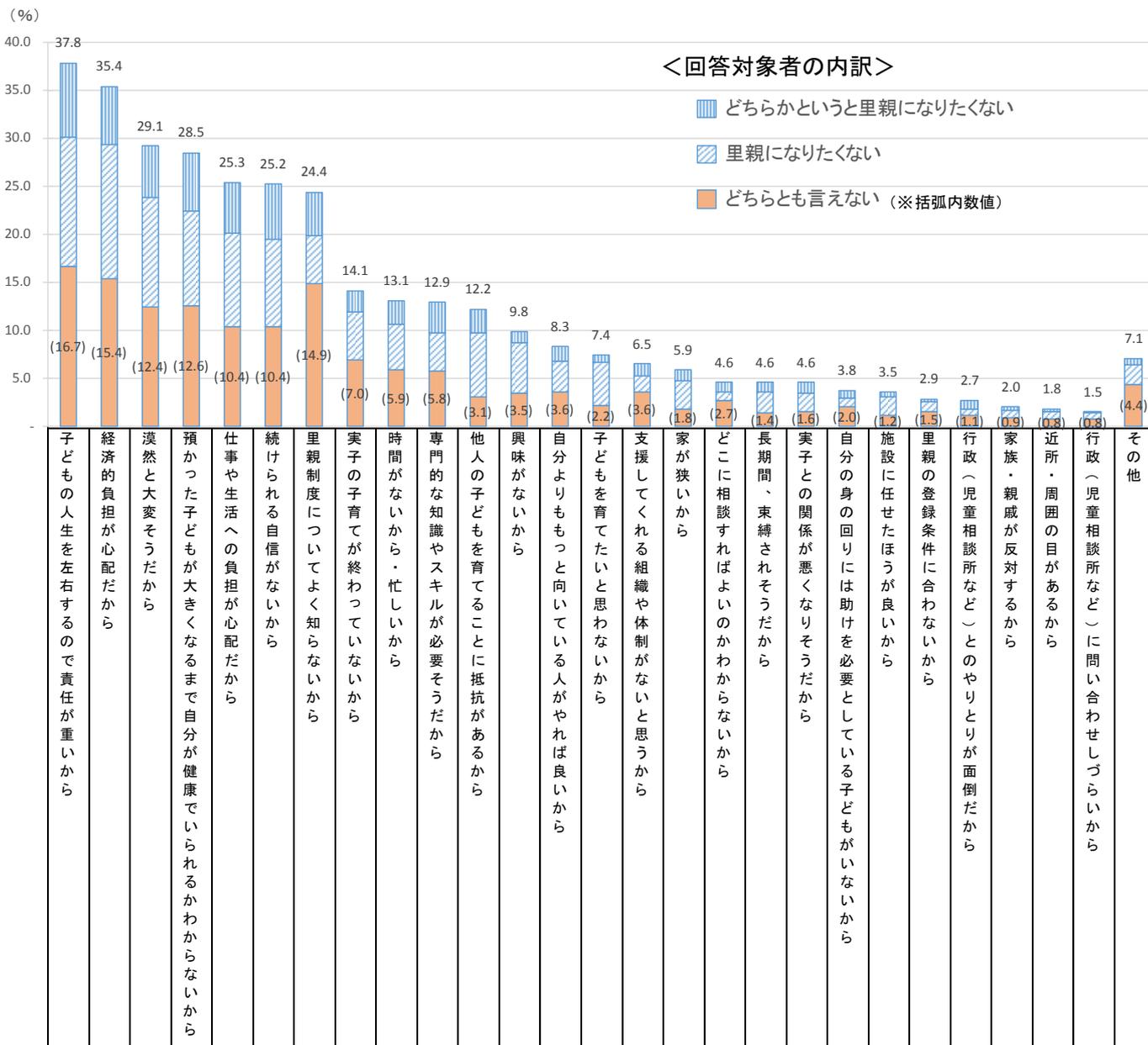
・「家庭を必要とする子どもを助けたいから」、「子どもが好きだから」が上位となっている。



(3) 里親になってみたいと思わない理由について（複数回答：いくつでも）

((1)で「どちらかというと里親になりたくない」、「里親になりたくない」、「どちらとも言えない」を選んだ人が対象)

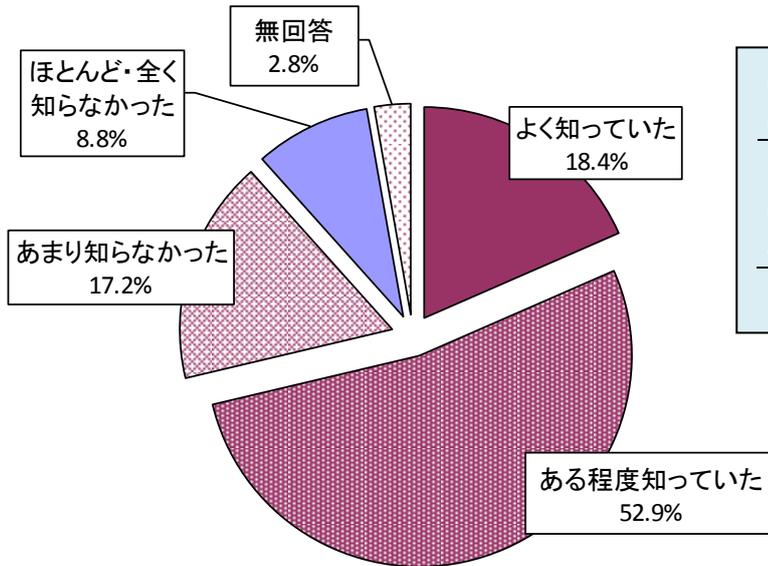
・「責任が重い」、「経済的負担」等が上位となっているほか、さまざまな理由があがっている。



## 9 食品ロスの削減について

### (1) 食品ロスの認知度について

・食品ロスが問題となっていることを知っている割合が7割を超えた。

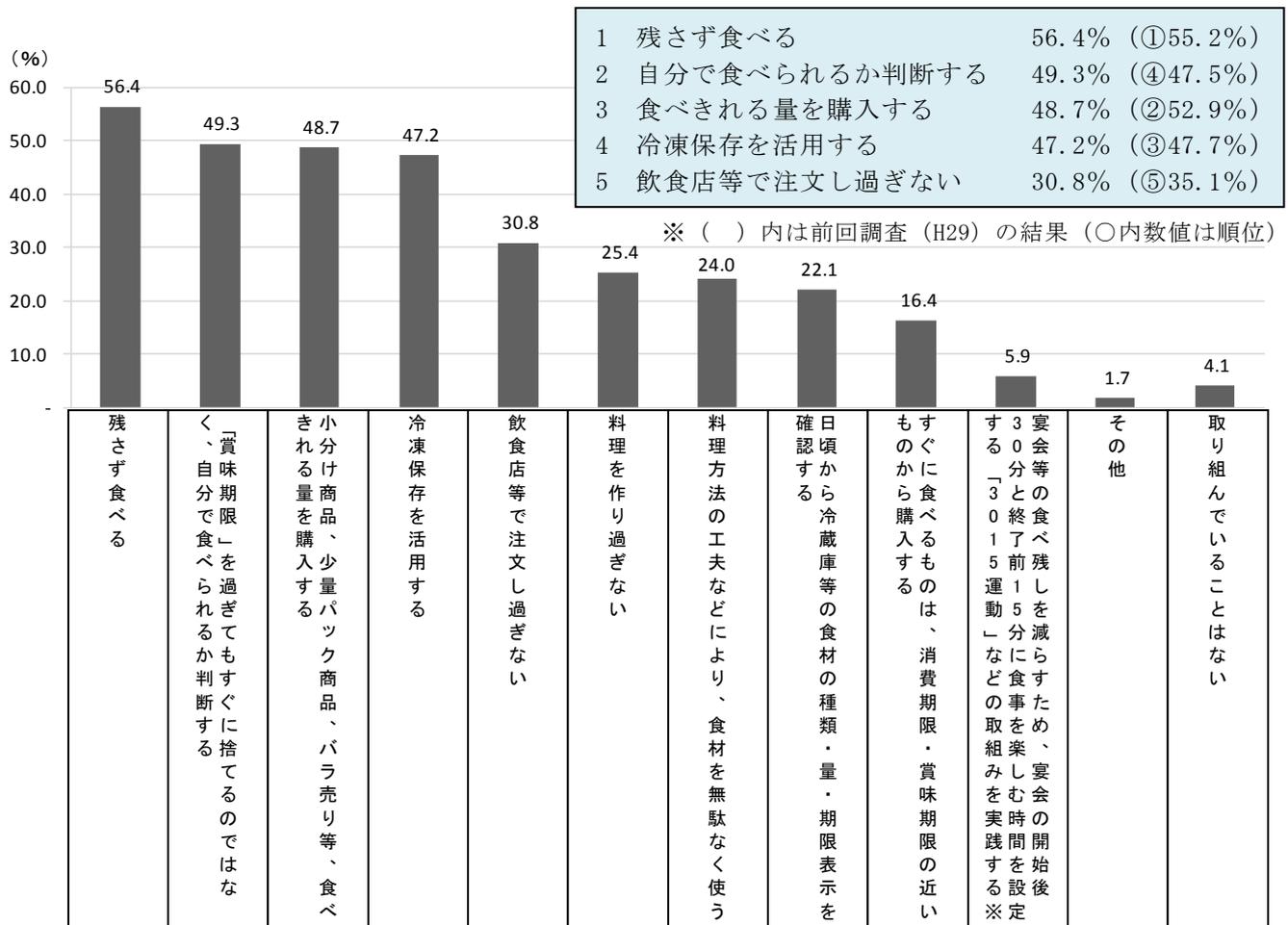


よく知っていた	18.4%	(17.6%)
ある程度知っていた	52.9%	(47.1%)
<b>小計</b>	<b>71.3%</b>	<b>(64.7%)</b>
あまり知らなかった	17.2%	(20.6%)
ほとんど・全く知らなかった	8.8%	(11.0%)
<b>小計</b>	<b>26.0%</b>	<b>(31.6%)</b>

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

### (2) 食品ロスを減らすために取り組んでいることについて (複数回答: いくつでも)

・上位5位は昨年同様であり、「残さず食べる」等となっている。



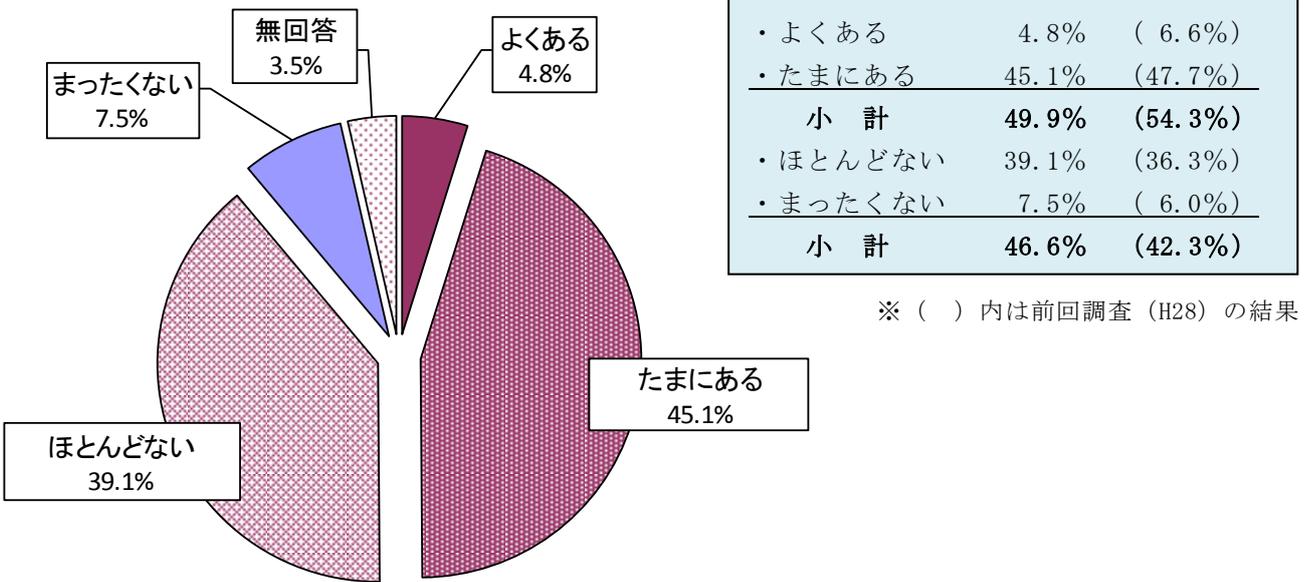
※ 「3015 (さんまるいちご) 運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動。

【食べきり3015運動】: 宴会時において、開演後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動。  
【使いきり3015運動】: 毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使い切る運動。

## 10 犯罪の予防について

### (1) 犯罪の被害への不安について

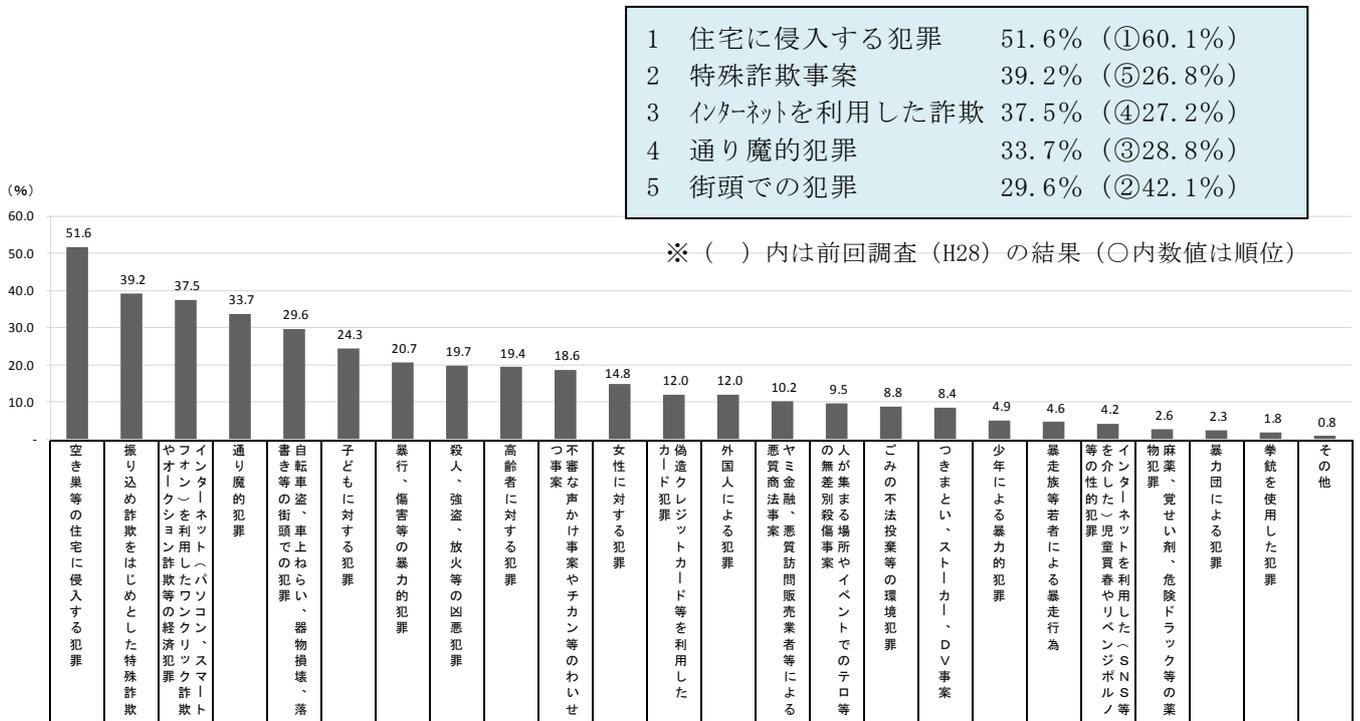
・『不安を感じることもある』と回答した方が、前回よりやや減少している。



### (2) 不安を感じる犯罪について (複数回答: 5つ以内)

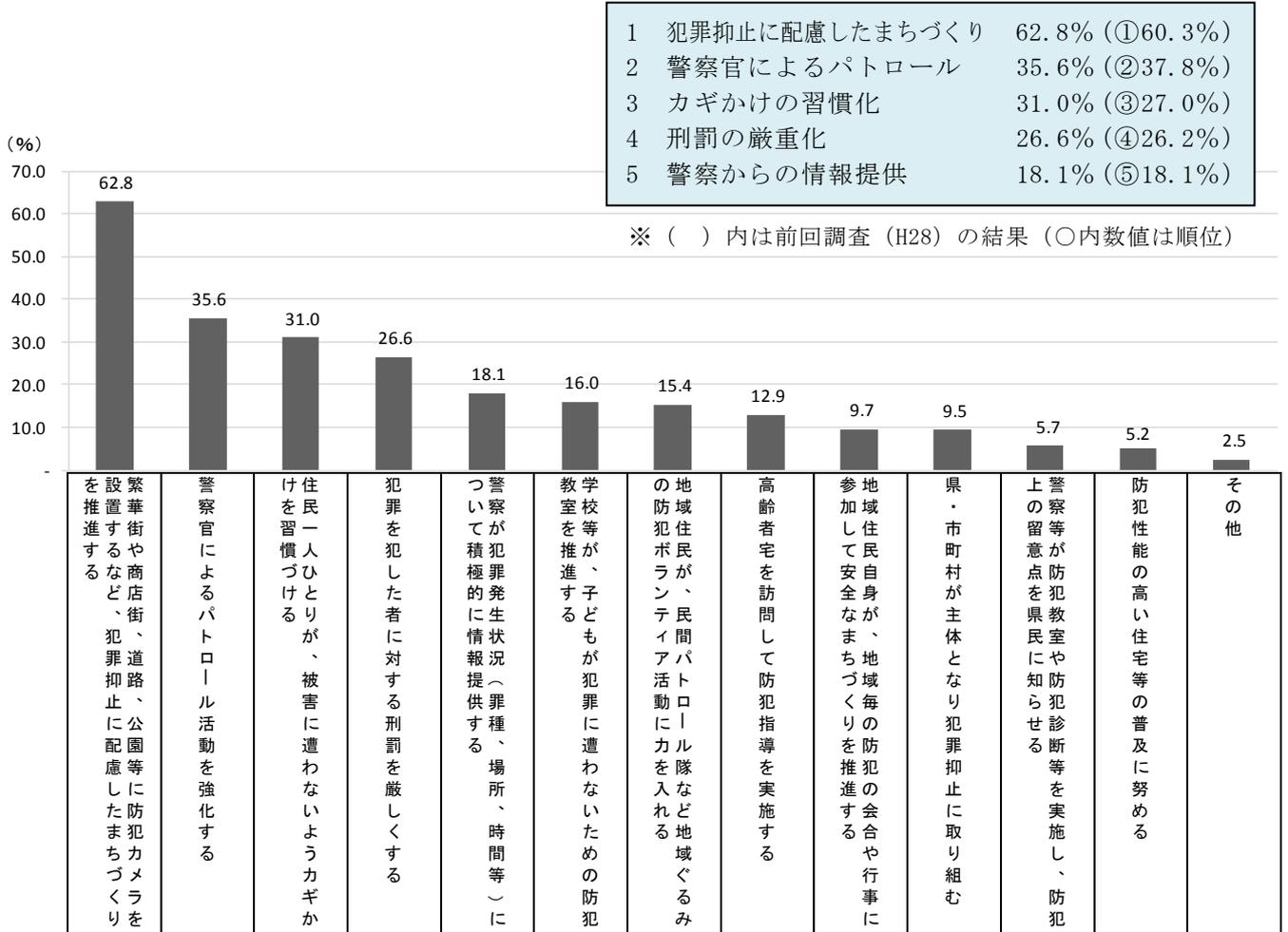
((1)で「よくある」、「たまにある」を選んだ人が対象)

・上位5位は前回同様であるが、「特殊詐欺」、「インターネットを利用した経済犯罪」が割合を大きく上げている。



(3) 今後さらに犯罪を減らすために必要な取組みについて（複数回答：3つ以内）

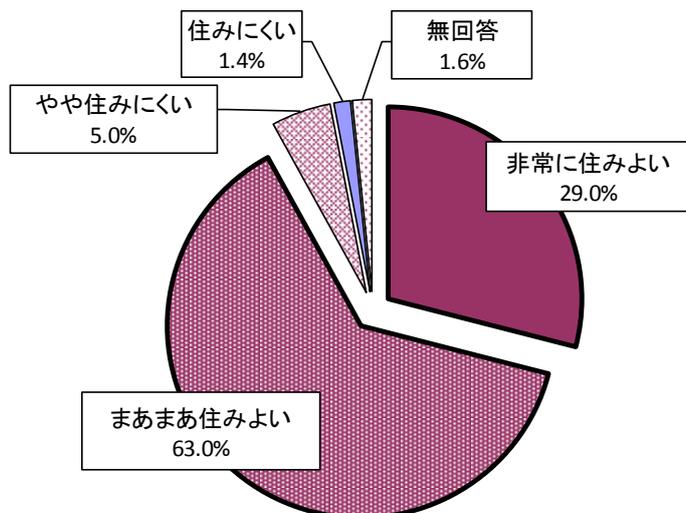
・上位5位は前回同様であり、「防犯カメラの設置など、犯罪防止に配慮したまちづくり」等となっている。



## 11 意識調査について

### (1) 富山県の住みよさについて

・約9割の方が、『住みよい』と回答し、比率も上がっている。

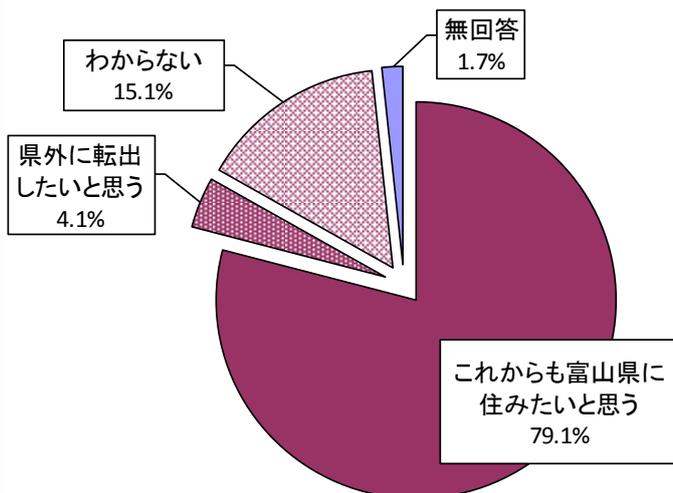


・非常に住みよい	29.0%	(28.5%)
・まあまあ住みよい	63.0%	(61.3%)
小計	92.0%	(89.8%)
・やや住みにくい	5.0%	(6.1%)
・住みにくい	1.4%	(1.9%)
小計	6.4%	(8.0%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

### (2) 継続的な居住希望について

・約8割の方が、「これからも富山県に住みたい」と回答し、比率も上がっている。

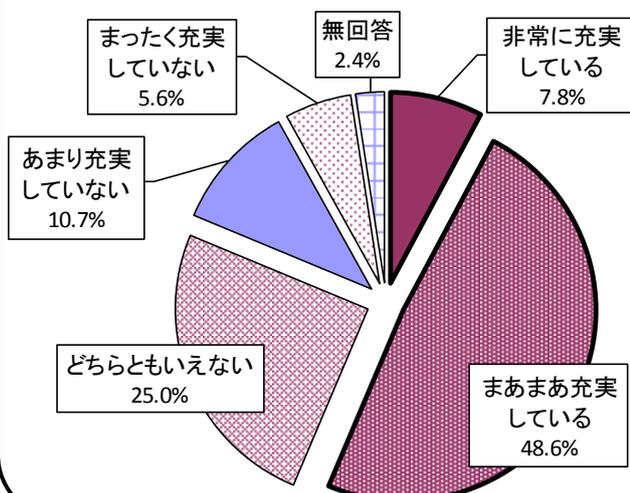


・これからも富山県に住みたいと思う	79.1%	(78.4%)
・県外に転出したいと思う	4.1%	(4.8%)
・わからない	15.1%	(14.3%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

### (3) 仕事の充実感 (満足感) について (注 本人職業が無職、学生等の方を除く)

・6割近くの方が仕事に充実感を感じ、比率も上がっている。

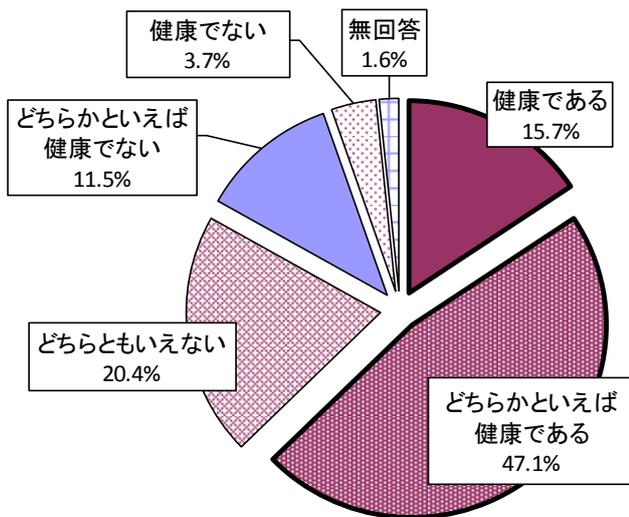


・非常に充実している	7.8%	(8.2%)
・まあまあ充実している	48.6%	(46.5%)
小計	56.4%	(54.7%)
・あまり充実していない	10.7%	(12.2%)
・まったく充実していない	5.6%	(5.5%)
小計	16.3%	(17.7%)
・どちらともいえない	25.0%	(24.5%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(4) 自分の健康状態について

・約6割の方が自身の健康状態について『健康』と回答し、比率も上がっている。



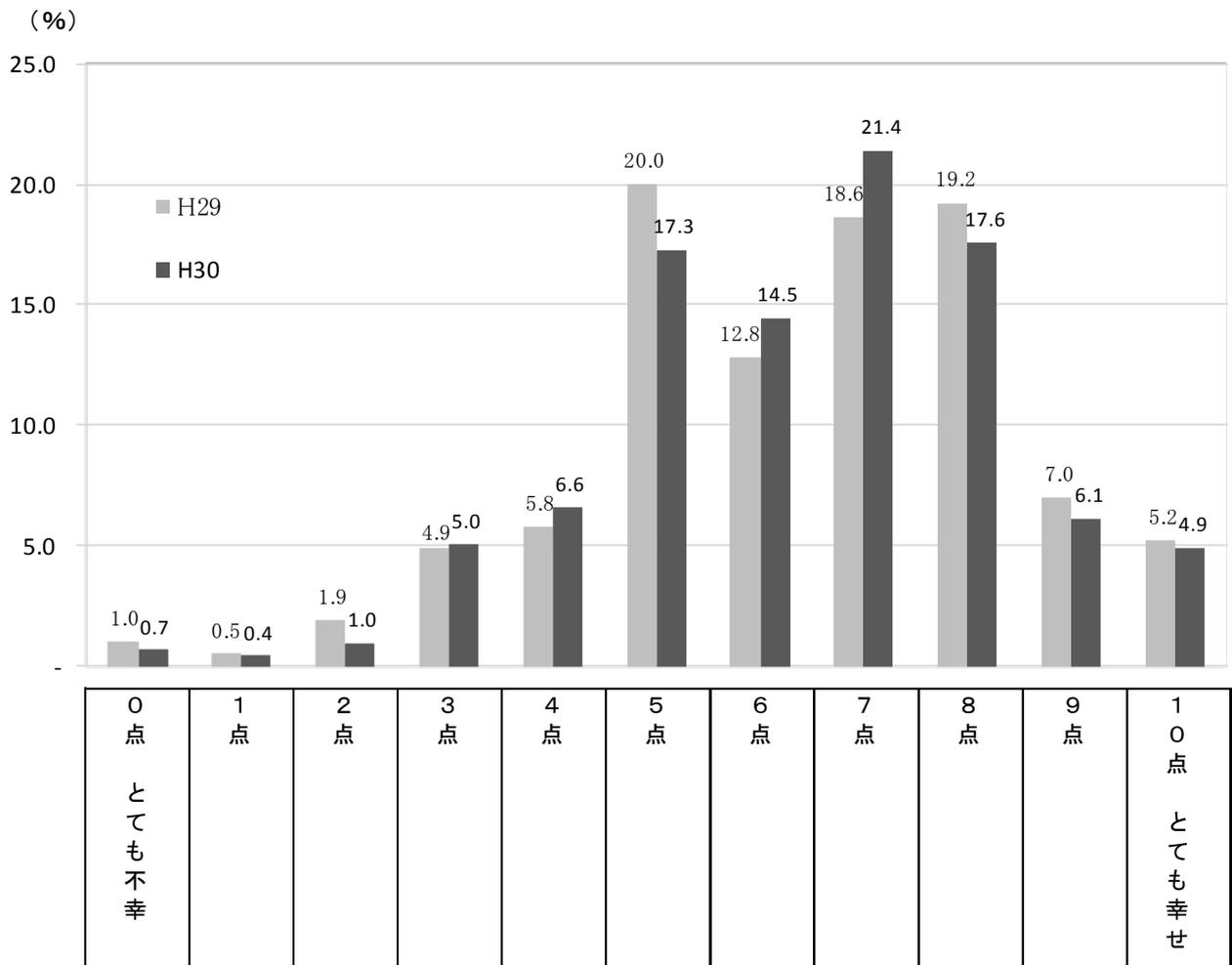
・健康である	15.7%	(14.9%)
・どちらかといえば健康である	47.1%	(44.8%)
<b>小計</b>	<b>62.8%</b>	<b>(59.7%)</b>
・どちらかといえば健康でない	11.5%	(12.7%)
・健康でない	3.7%	(4.2%)
<b>小計</b>	<b>15.2%</b>	<b>(16.9%)</b>
・どちらともいえない	20.4%	(21.1%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(5) 主観的幸福感について

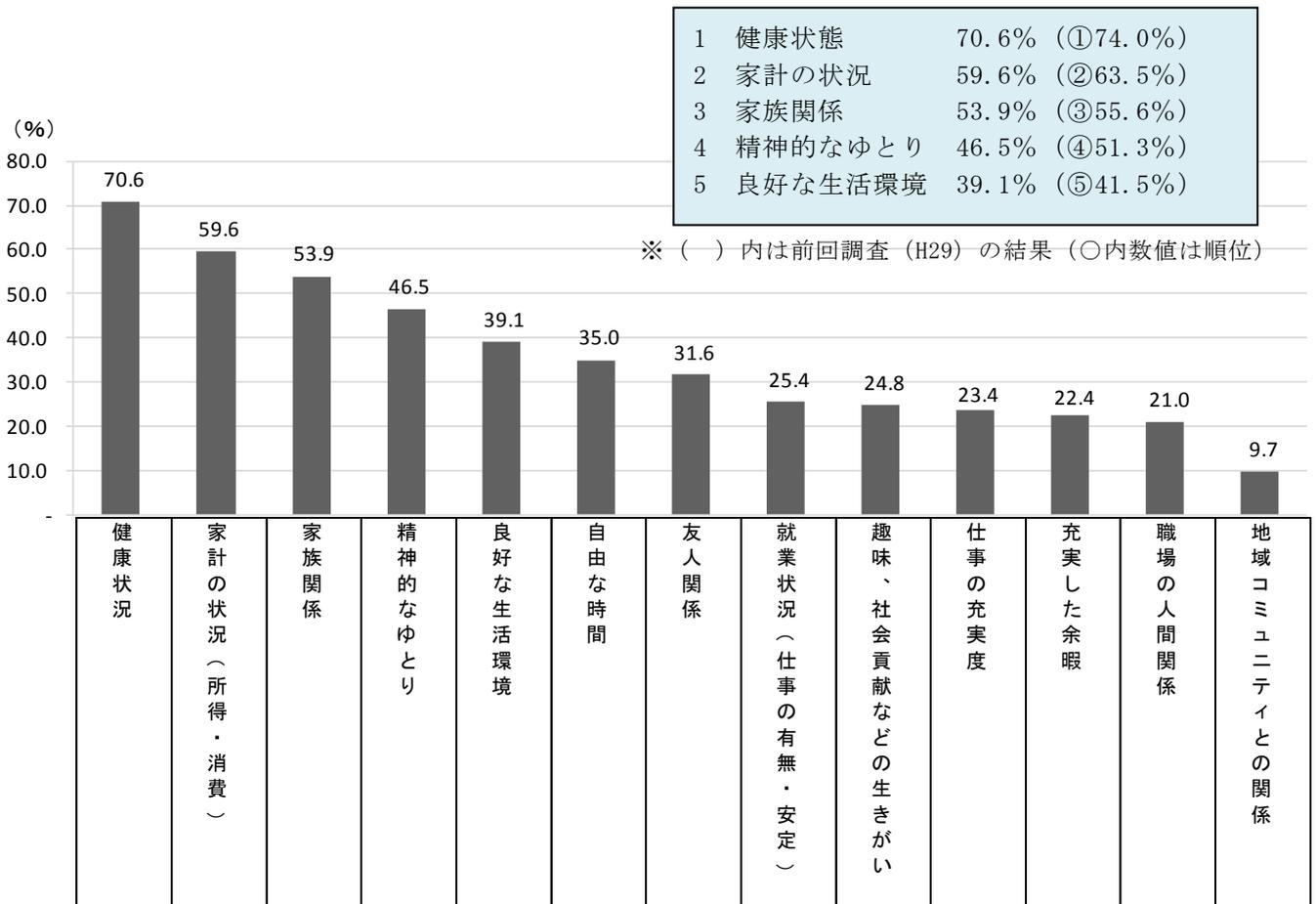
・前回同様、5点～8点を選択した方が多い。(約7割の方が選択)

・平均点は6.41点で、前回の6.38点からやや上がっている。



(6) 幸福感の判断の際に重視するものについて (複数回答: いくつでも)

・上位5位は前回同様であり、「健康状態」、「家計の状況」、「家族関係」等となっている。



(7) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、  
 県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。

たくさんある	22.1%	(20.8%)
少しはある	65.1%	(69.1%)
ない	8.5%	(7.3%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(8) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。

十分に充足されている	3.5%	(1.9%)
ある程度充足されている	39.0%	(38.6%)
あまり充足されていない	30.7%	(35.5%)
まったく充足されていない	5.9%	(7.1%)
わからない	17.5%	(14.4%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(9) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。

十分に果たしている	1.9% ( 2.1%)
ある程度果たしている	35.8% (35.1%)
あまり果たしていない	35.9% (41.5%)
まったく果たしていない	5.0% ( 5.8%)
わからない	17.2% (12.6%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(10) あなたは、過去1年間に、生涯学習を行ったことがありますか。

ある	30.0% (27.6%)
ない	63.3% (63.9%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(11) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。

積極的に参加している	10.6% ( 9.5%)
ときどき参加している	46.6% (45.5%)
参加していないが、今後は参加したい	18.2% (20.7%)
参加していないし、今後も参加したくない	20.9% (21.9%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果

(12) あなたが住んでいる地域の景観をどのように思いますか。

美しいと思う	40.5% (40.1%)
どちらともいえない	49.6% (51.5%)
美しいと思わない	6.7% ( 6.6%)

※ ( ) 内は前回調査 (H29) の結果